

## 主な内容

- P2 令和2年度事業 ピックアップ
- P9 令和2年 第1回臨時会概要
- P10 常任委員会報告
- P13 市政を問う 13人の「一般質問」
- P20 6月定例会会期日程(案)



# 306億8,187万円

## ピックアップ

### 定住促進対策事業

7,590万1千円

#### 【事業目的】

定住・移住に関する支援を行い、市内の方の定住及び市外の方の移住を促進し、人口減少対策並びに地域コミュニティの維持・活性化を図る。

新規・拡充事業あり

#### 【事業内容】

- ①定住促進奨励補助金
  - ・新築住宅取得補助金
  - ・中古住宅購入補助金
- ②若者Uターン家賃補助金
- ③定住促進奨学資金償還補助金 **【新規】**
- ④関係人口創出事業 **【拡充】**
- ⑤わくわく地方生活実現パッケージ・地方創生移住支援事業  
東京圏から市内の中小企業へ就業される方へ、移住費用を支援
- ⑥移住希望者等に対する情報発信など
- ⑦お試し住宅の運営
- ⑧地域おこし協力隊事業（移住促進）
- ⑨ながさき移住サポートセンター連携事業
- ⑩空き家等情報登録制度（空き家バンク制度）
- ⑪空き家活用促進奨励補助金
  - ・空き家物件調査補助金
  - ・家財道具等片付け補助金
  - ・空き家仲介手数料補助金
- ⑫空き家バンク登録奨励金
- ⑬移住促進空き家リフォーム補助金
- ⑭住宅確保加速化支援事業補助金 **【新規】**



#### 「住宅確保加速化支援事業」ってどんな事業なの？

この事業は、空き家の活用を進めることを大きな目的としています。  
現在、移住者が空き家を探す場合、移住者自身の手間が多くなっています。  
そこで、移住者向けの様々な手配を一括して行う団体を市が認定し、その空き家活用団体に対して補助をする事業です。

# 令和2年度一般会計当初予算

## 令和2年度事業

### 子育て世代包括支援センター運営事業 **【新規】** 340万5千円

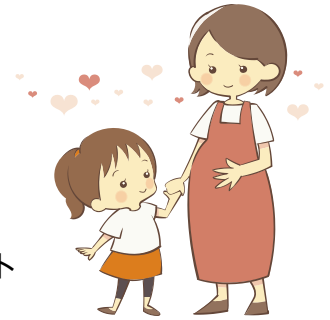
#### 【事業目的】

妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、当該センターが調整役となり切れ目のない支援を行うことで、妊娠や子育ての不安・孤立等の解消を図る。また、児童虐待のリスクを早期に発見・<sup>※</sup>逡減することで、乳幼児のすこやかな成長・発達を図る。

※<sup>ていげん</sup>逡減とは？…時とともに少しずつ減ること

#### 【事業内容】

- ①母子コーディネーター（保健師又は助産師）の配置
- ②母子健康手帳交付（妊娠届）時に、保健師による妊婦の面接（総合支所での受付は、TV電話等）
- ③子育て支援員・母子父子自立支援員・家庭児童相談員・子育てサポートセンターアドバイザーとの連携強化
- ④産婦人科医院や地域の子育て関連機関との連絡調整



### 小・中学生遠距離通学費補助金 937万円4千円

#### 【事業目的】

保護者の教育にかかる経済的負担の軽減を図るため、雲仙市立の小・中学校へ通学する児童・生徒の遠距離通学にかかる費用の一部を補助する。

新規事業  
あり

#### 【事業内容】

- ①学校統廃合に伴い、より遠方の学校へ通学する児童・生徒への補助  
《補助額》  
通学のために利用する公共交通機関等の定期券及び回数券の購入費用の全額
- ②通学が一定の距離を超える児童・生徒への補助 **【新規】**  
(小学生は、片道3km以上 中学生は、片道5km以上)  
《補助額》  
通学距離に応じた下記の額
  - ・小学生：3km～4km未満…年額 5,000円、4km以上 …年額 7,000円
  - ・中学生：5km～6km未満…年額 9,000円、6km以上 …年額11,000円



## 水産業強化支援事業【新規】

5,590万9千円

### 【事業目的】

漁船の大型化に伴い、既存施設で安全に上下架作業を行うために余分な労力が必要になっている。また、本地区の施設で安全に上下架作業ができない大型船については地区外の施設で作業を行う必要があるため、必要以上の経費負担が生じている。これらの課題を改善するため、台車に転倒防止装置を設置した漁船保全修理施設の整備を行う。

### 【事業内容】

南串山 京泊漁港漁船保全修理施設 1式  
(補助事業名) 水産業強化支援事業  
(負担区分) 国：40% 市：60%



(上下架施設)

## 市道・河川改良及び急傾斜地崩壊対策事業 8億4,460万円

### 【事業目的】

地域住民の生活環境の向上と安全確保を図るため、下記の事業等を行う。

- ・道路改良事業 29箇所
- ・河川改良事業 1箇所
- ・急傾斜地崩壊対策事業 1箇所
- ・橋梁長寿命化事業及び市道舗装補修事業

### 【事業内容】

地区名	箇所数			総額 (千円)
	道路	河川	急傾斜	
国見地区	3			50,400
瑞穂地区	4	1		75,800
吾妻地区	7			163,600
愛野地区	4		1	52,700
千々石地区	3			54,000
小浜地区	3			51,600
南串山地区	4			149,400
雲仙市地区	1			127,100
橋梁長寿命化ほか	(橋梁・舗装補修等及び調査)			120,000
計	29	1	1	844,600

## 防災対策システム整備事業【新規】

1億円

### 【事業目的】

災害対策本部の環境整備を行うため、気象庁から発信される地震・津波・気象災害など自然災害に関する情報や、Jアラートからの弾道ミサイル攻撃等武力攻撃に関する緊急情報等を収集し、その情報を速やかに市民等へ伝達するとともに災害時の迅速な避難勧告等の発令を可能とするための各種システムの導入等を行う。

### 【事業内容】

- 複数メディア配信システムの導入  
一回の操作で複数の媒体（防災行政無線・ホームページ・防災アプリ・緊急速報メール等）への情報配信を行うシステム
- 避難勧告等判断システムの導入  
収集した情報を基に、避難勧告等の発令判断支援を行うシステム
- その他（防災行政無線操作卓の更新、防災対策室の備品整備等）



# 新しく3つ条例を制定しました!



## 議案第3号 雲仙市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者となった市民が不利益を被ることがないように支援を行うための条例

## 議案第4号 雲仙市予防接種健康被害調査委員会条例

市が実施する予防接種により発生した健康被害の適正かつ円滑な処理に資することを目的に委員会を設置するための条例

## 議案第5号 雲仙市森林環境譲与税基金条例

森林の整備及びその促進に要する費用の一部に充てることを目的として、雲仙市森林環境譲与税基金を設置することとし、基金の管理及び処分に関し必要な事項に係る条例

## 議案第27号～第29号 工事請負契約の締結について（3件）

- 雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事（建築主体工事）  
契約相手：宅島・柴崎・松尾特定建設工事共同企業体  
契約金額：22億4,400万円
- 雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事（電気設備工事）  
契約相手：長崎電気・野原電機特定建設工事共同企業体  
契約金額：3億4,320万円
- 雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事（機械設備工事）  
契約相手：研進工業・旭産トーヨー住器特定建設工事共同企業体  
契約金額：2億7,170万円



雲仙市新小浜体育館（仮称）  
メインアリーナ内観イメージ

## 議案第30号 不動産の買入れについて

- 物件の所在地 雲仙市国見町土黒甲字同岸296番9（多比良港埋立地の一部）
- 買入面積 67,926.92㎡
- 買入金額 5億4,681万1,706円
- 契約の相手方 長崎県

☆工業団地の名称：多比良港工業団地



※赤枠部分が、今回買入れる土地となります。  
（多比良港埋立土地利用計画図）





賛成

反対

## ◆令和2年度雲仙市一般会計予算案 可決

人口減少が加速している雲仙市において移住定住促進や子育てに力を入れた施策が予定されている。また、農林漁業や観光業、福祉行政も盛り込まれている。来年度予算を可決していち早く雲仙市民の生活の安定の為に力を注ぐべきと考え賛成する。

(平野 利和 議員)

マイナンバーカード制度はカード1枚に個人情報が網羅されてしまう恐れがある。情報が漏れない保証はない。海外宣伝事業では、ドイツやアメリカを対象に誘客活動をするとなっているが、韓国、中国を含む身近な東南アジア地域を推進するべきだ。

(矢崎 勝己 議員)

## ◆令和2年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案 可決

医療費適正化特別対策事業、保健衛生普及事業、特定健康診査等事業など医療費の適正化を図る事業が計上されており、歳出では、保険給付費がマイナスとなり、保健事業費はプラスの伸び率で、医療費抑制を図る予算であるため賛成する。

(大山 真一 議員)

国民健康保険制度は法にあるように、住民の相互扶助制度ではなく社会保障制度だ。「自己責任論」は政府の責任を免罪するもの。国保法第1条「この法律は、(中略)社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的」とある。この原点に立ち返ることが必要だ。

(上田 篤 議員)

## ◆令和2年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案 可決

新年度予算は、健康寿命延伸に向けた保健事業として、健康診査事業や口腔ケア事業の実施で、医療費の抑制や生活習慣病の重症化防止を図ることなどが予定されており、広域計画に沿った事業に取り組まれるため、本案に賛成する。

(大山 真一 議員)

「年金は減る、消費税は上がる」中でのこのような保険料引き上げには賛成できない。75歳という年齢だけで差別する制度は、憲法第25条の生存権、憲法第14条の「法の下の平等」に反するものだ。このような制度は廃止をして、誰もが合意できるものを作るべきだ。

(上田 篤 議員)

### 人権擁護委員



木村 一徳 氏 (再任)



徳永 卓 氏

令和2年7月1日  
令和5年6月30日

### 教育長



下田 和章 氏

令和2年3月1日  
令和5年2月28日

人事案件

# 令和2年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第1号	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第2号	県央県南広域環境組合規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第3号	雲仙市犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決
議案第4号	雲仙市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について	原案可決
議案第5号	雲仙市森林環境譲与税基金条例の制定について	原案可決
議案第6号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	雲仙市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	雲仙市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	雲仙市営住宅設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	雲仙市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	雲仙市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	令和元年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決
議案第13号	令和元年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案第14号	令和元年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案第15号	令和元年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案第16号	令和元年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案第17号	令和2年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案第18号	令和2年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案第19号	令和2年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案第20号	令和2年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案第21号	令和2年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案第22号	令和2年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計予算案について	原案可決
議案第23号	令和2年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 24 号	令和2年度雲仙市下水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 25 号 ～ 29	工事請負契約の締結について [5件]	原案可決
議案 第 30 号	不動産の買入れについて	原案可決
議案 第 31 号	桑田辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案 第 32 号	加例川・井手ノ上辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案 第 33 号	守山高部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
議案 第 34 号	市道路線の変更について	原案可決
議案 第 35 号	教育長の任命について	原案可決
議案 第 36 号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算(第1号)案について	原案可決
諮問 第 1 号 ～ 2	人権擁護委員候補者の推薦について [2件]	同 意
報告 第 1 号 ～ 2	専決処分した事件の報告について(損害賠償の額の決定及び和解)[2件]	—
発議 第 1 号	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議 第 2 号	雲仙市長への専決処分事項の指定の一部改正について	原案可決

## 賛 否 表

議案番号	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	結 果	表 決 数	藤本淳次郎	山本松一	大山真一	矢崎勝己	渡辺勝美	佐藤義隆	林田哲幸	坂本弘樹	酒井恭二	平野利和	浦川康二	上田篤	町田康則	大久保正美	小畑吉時	元村康一	小田孝明	深堀善彰
※本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。																				
令和元年度雲仙市一般会計補正予算(第7号)案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度雲仙市一般会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

○賛成      ●反対      ▲欠席      ※議長(松尾文昭)は、採決に加わらない。



# 令和2年第1回臨時会の主な概要

令和2年4月17日に第1回臨時会が開催されました。

主な議案としては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種対策（支援）事業を緊急に実施する経費を計上した一般会計補正予算（第2号）の提案がなされ、審議が行われました。一般会計補正予算（第2号）の主な事業は、下記のとおりです。

## 雲仙市緊急消費喚起対策事業【新規】 6,097万円

- ①事業内容：市内全世帯へ商品券を配布し、市内の飲食店及び各事業所の利用と消費喚起を促す。  
(1人世帯：飲食店用商品券1,000円分＋共通商品券1,000円分)  
(2人世帯：飲食店用商品券2,000円分＋共通商品券1,000円分)  
(3人世帯以上：飲食店用商品券3,000円分＋共通商品券1,000円分)
- ②補助内容：市内飲食店及び各事業所は、商品券を添付の上、市へ補助金を申請し、市は商品券の金額を補助する。

## 雲仙市緊急宿泊促進支援事業【新規】 6,500万円

- ①事業目的：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市内への観光客及び宿泊客が大幅に減少し、観光産業に甚大な影響を及ぼしているため、「雲仙市民」を対象に、市内宿泊施設の利用を促すことにより、市内観光産業の活性化を図る。
- ②補助対象者：市内宿泊事業者
- ③補助内容
  - ・補助金額：1人1泊あたりの宿泊料金の1/2（千円未満を切り捨てた額）  
(2万円を上限、利用回数制限なし)
  - ・要件：宿泊者が雲仙市民であること  
市内の宿泊施設に宿泊すること



## 令和2年第1回雲仙市議会臨時会の主な議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 37 号	専決処分した事件の承認について（雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案 第 38 号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第2号）案について	原案可決



本委員会に付託された案件について、原案可決8件と決定しました。  
また、議案について3箇所の現地調査も実施しました。  
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

## 雲仙市犯罪被害者等支援条例の制定

**質疑** 犯罪被害者に対する支援の中で、公営住宅の活用や引っ越し支援等が大切である。被害者を公営住宅へ優先して入居させる考えはないのか。

**答弁** 第10条に規定しているとおり、一時的な住宅の提供ということで、市営住宅に空室があれば住宅の支援を行っていききたい。また、犯罪の内容によっては、市外への転出を必要とする場合があるので、その際は県と連携を図っていききたい。

## 令和2年度一般会計予算案

**質疑** ふるさと応援寄附金において、前年度より1億5000万円の増額を見込んでいる根拠は何か。

**答弁** 寄附者が寄附しやすいような状況を整えるため、ポータルサイトを2つ増設することで、1億5000万円の増額を見込んだ。

## 意見 現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響

で市内の観光業は大打撃を受けている。ふるさと応援寄附金に対する返礼品として、市内ホテル、旅館の宿泊を拡大するように。

**質疑** 移住者向け住宅確保加速化支援事業補助金の内容は。

**答弁** 現在、移住者が空き家を探す場合、移住者自身の手間が多いため、今回、移住者向けの様々な手配を一括して行う団体を市が認定し、その空き家活用団体に対して補助をする仕組みを構築したい。

**質疑** 自治会長の報酬額は、どのように試算されているのか、また、報酬額の最高額と最低額はどのようになっているのか。

**答弁** 均等割として5万円、世帯割として自治会加入世帯1世帯当たり年間3090円、この2つを年間の報酬として支払っている。最高額は200世帯の自治会で年間66万8000円、最低額は6世帯の自治会で年間6万8540円の報酬である。

**質疑** 自治会の合併や統合問題については、雲仙市自治会長連合会においても議題にあがっているが、自治会長が毎年変わる自治会もあり、話を進めることができないのが現状であると感じている。この問題は行政側が主導で動き、推進しなければ先に進まないのではないのか。

**答弁** 雲仙市自治会長連合会の中で研修を進め、お互いに研究しながら進めていかなければならない。また、**質疑** 会計課の人員費において、現在、会計課窓口指定金融機関から派出されている2名の嘱託行員が1名へ縮減される。これは、今年10月に十八銀行と親和銀行両行が合併することによるサービスの低下ではないのか。また、令和2年度より派出行員が1名へ縮減され、その代替として市の短時間職員を1名増員する

ことにより、市の負担が増えている。このことについて、市として指定金融機関へ要望等は行っていないのか。

**答弁** 今後、市としては、県内の会計管理者等の会合時に共通認識を高めた上で、県の市長会等にも働きかけをし、金融機関に対して要望を重ねていきたい。

**反対討論** 社会保障・税番号制度システム整備事業の中にマイナンバー制度があるが、個人情報漏れがない保証はなく、個人に対するデメリットが多い。また、将来、個人情報すべて網羅されてしまう恐れがあるため、反対する。

**賛成討論** 予算案は、各種事業、市民生活に大変重要な予算が適切に配分されているため、賛成する。

**採決** 賛成多数により原案のとおり可決。



本委員会に付託された案件について、原案可決15件と決定しました。  
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

## 令和2年度一般会計予算案

### 豊中央南広域環境組合規約の変更に関する協議について

**質疑** 稼働中の現施設3基の今後の解体計画及び解体費用はどのくらいなのか。

**答弁** 令和8年に新施設が稼働予定であるが、その後解体を計画されており、解体費用としては13億6千万円を予定されている。

**質疑** 運営費と建設費が規約改正案のとおりとなった場合、諫早市以外の構成市は負担増となるが、負担割合はどのように協議されたのか。

**答弁** 諫早市に焼却施設本体があり、4市すべてが使用しているが、半島内にあるリレーセンターについては、諫早市の使用頻度が3%程度しか使用されないため、リレーセンターや焼却施設本体の維持管理費などの経費負担について、20%の平等割と80%の人口割やごみ処理量割などを含めて協議した。

### 愛野小学校の教室を増設するための実施設計予算を計上しているが、どのくらいの規模を考えているのか。

**質疑** 現在、愛野小学校は普通学級として15クラス、令和5年度には16クラスになる予定であり、現在の校舎はすべて教室として使用している状況である。また、少人数指導教室として使用している部屋が1教室あり、普通学級が1クラス増えた場合、教室が不足し、少人数指導ができなくなることから、それに対応するために3教室程度を想定した増築にかかる実施設計予算を計上した。

**答弁** 現在、愛野小学校は普通学級として15クラス、令和5年度には16クラスになる予定であり、現在の校舎はすべて教室として使用している状況である。また、少人数指導教室として使用している部屋が1教室あり、普通学級が1クラス増えた場合、教室が不足し、少人数指導ができなくなる

**質疑** 移動図書館車の運行変更について市民から聞いたがどのようなものか。

**答弁** 図書館職員は、土曜、日曜日あわせて合併時から4名でのローテーションで勤務を行うため、実質、1日を2名または3名体制で勤務をしている。1名が移動図書館車に従事すると、現場が1名から2名体制になることから、休憩も取りにくい状況である。また、研修会等があった場合、出勤日程を調整して対応しているところであり、合併後、図書館システムでの予約対応、他図書館との双方の貸し借りなど業務も増加をしているところであるため、移動図書館の小学校巡回については、これまでの3週間に1度巡回するペースを4週間に1度の巡回に見直し、引き続き、小学校への移動図書館の巡回を確保しながら、図書館及び公民館駐在職員の負担軽減を図り、段階的に見直しを検討するなど、校長会の意向にも配慮しながら対応していく。

**質疑** 生活保護者は雲仙市では現在何人なのか。また、就労意欲に対する支援はどのようにしているのか。

**答弁** 令和2年1月末現在で、505世帯、594人である。就労意欲への支援

については、本人の状況을十分把握し、医師の意見書等により総合的に働けるのか働けないのかという稼働能力判定を行い、就労が可能となれば、その人の状況に応じた就労指導を行っている。

### 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算案

**質疑** 令和2年度は、後期高齢者保険料の見直しになるが、保険料引き上げにかかる被保険者に対する周知方法はどのように考えているのか。

**答弁** 広報うんぜん5月号にてお知らせするとともに、7月に保険料決定通知を送付する際に保険料変更チラシの同封を考えている。

### 現地調査を実施

今回の議案について、2箇所の現地調査を実施した。





本委員会に付託された案件について、原案可決15件と決定しました。  
また、議案について12箇所の現地調査も実施しました。  
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

## 雲仙市森林環境譲与税基金条例の制定

**質疑** 当基金条例を活用した私有林整備の手続きはどのようなになるのか。

**答弁** 国や県の事業で森林整備の計画がなく、かつ過去に整備が行われていない人工林の所有者に対し、市がアンケート調査を年次的に実施する。このアンケート調査を基に、今後も人工林として管理すべき森林で、切捨間伐を行った方が良くと判断された森林に対し、市が当基金を活用し整備を行っていく計画である。

## 雲仙市営住宅管理条例の一部を改正する条例

**質疑** 債権管理の分類を私法上の債権として取り扱うこととしたとの説明だったが、私法上とはどういうものか。

**答弁** 市の債権には、公債権と私債権があるが、これまで住宅使用料は、公の機関が扱う公債権として取り

扱ってきた。しかし、最近の裁判例では、民間の賃貸住宅と同じ、民法上の適用として示されてきたことから、私債権として取り扱うこととしたため、今回改正するものである

## 令和元年度一般会計補正予算(第7号)案

**質疑** 市営住宅朝日山団地の工事内容はどのようなものか。

**答弁** 今年度が最終年度で、A・B・Cある3棟のうち、C棟の外壁改修工事と屋上防水改修工事のほか、老朽化に伴う浄化槽の改築工事を行っている。

## 令和2年度一般会計予算案

**質疑** 昨年、天草が日本ジオパークからの撤退を発表したが、影響を受けないのか。また、市はどういう考えなのか。

**答弁** 撤退発表後、緊急に担当課長等が招集され、島原半島ジオパークについては引き続きジオパークの魅力を発信していくことで再

確認している。天草の意向が全国的に広がらないか懸念を抱いていたが、現在のところそういった動きは聞いていない。  
**質疑** 各町の地域から申請がある市道改良の整備は、どのような採択基準で進めているのか。

**答弁** 各地区から提出があった改良申請をもとに、要綱にのっとって、現場を確認し、優先順位等を決めている。また、要望が多い地区は待ってもらい、地区として要望が少ないところは、なるべく早目に整備を行っている。

**意見** 市道改良とは別に公共土木や、農地保全事業などでも道路整備は実施されるため、そういったトータルバランスも見ながら、公平性を考えた採択基準で事業を進めてもらいたい。

**反対討論** 開門調査をしながらいまま諫早湾水産振興特別対策事業を実施していても事業が実らないと考える。更に、ドイツ、アメリカに対する海外宣伝誘致事

業は、どのようにしても欧米から多くの観光客がくるとは思えず、東南アジア、特に韓国や中国を中心に考えるべきではないか。  
**採決** 賛成多数により原案のとおり可決。

## 令和2年度下水道事業会計予算案

**意見** 市内全域が下水道区域になっていないため、全ての地区ではない一部の地区に一般会計をつぎ込んでいくということが問題になっている。よって、この一般会計からの繰り入れを極力減らすように、加入促進を一生懸命頑張ってもらいたい。



# 市政を問う

## 13名の議員が一般質問



町田 康則…P13  
小畑 吉時…P14  
坂本 弘樹…P14  
浦川 康二…P15  
山本 松一…P15

林田 哲幸…P16  
平野 利和…P16  
藤本淳次郎…P17  
大山 真一…P17  
小田 孝明…P18

元村 康一…P18  
上田 篤 …P19  
矢崎 勝己…P19

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 消防防災体制の強化を



まちだ やすのり  
町田 康則議員

**議員** 道路交通法改正により普通免許では、3.5t以上の消防車は運転できなくなった。市では、団員の新中型免許取得に費用の2分の1助成する制度があるが、団員の負担があるのでもう取らないでおこうとする者もいる。消防機器の大手、モリタでは、3.5t未満のミラクルを発売した。小型でも3.5tと同様の性能・収納力がある。導入の考えは。

**市民生活部長** そのような車両の導入について考えていく。

**議員** 消防団員の加入促進について、他市では団員確保を図るため待遇改善策として、出勤手当を増額したりしている。全国ではいろんな取り組みで団員の待遇改善を

行っている。  
**市長** 消防団の加入促進につながる団員の優遇制度を調査研究したい。

### 女性職員の管理職登用は

**議員** 平成28年に発表された長崎県下21市町での女性管理職登用率が、雲仙市は3.6%で最下位であった。現状は。

**総務部長** 女性の管理職割合は3.5%で、県内13市で最も低い状況である。

**議員** 今年度までに5%にするというのが目標になっている。内閣府によると、女性管理職の市町村での登用率は全国平均12.6%だ。

**市長** 今後さらに女性活躍を踏まえた研修の充実を図っていく。

**議員** 県下で最下位というのは、誇れたものではない。優秀な女性の登用、また女性のやる気を出してもらいたい。



## 多比良港埋立地の活用



おばた よしとき  
小畑 吉時 議員

### 道路改良の必要性

**議員** 県から購入する多比良港埋立地の用地には、入口はあるが出口がない。企業誘致活動を円滑に進めるためにも、国見総合支所入口前の三差路から埋立地への取付道路設置について、県に強く要望すべきではないのか。

**市長** 県で設置する可能性はあるが、現状では管理上の問題があり、企業が立地するまでは封鎖することになる。予算上は、もし市が商業用地を購入すれば、その際に協議するとの回答を得ている。

**産業部長** 雇用や賑わいの創出ができる可能性を持った用地であると考えるので、引き続き強く要望していきたい。

**議員** 多比良港埋立地については、旧国見町時代から多額の公費負担もしていることから、住民にも非常に悲しい思いをさせている。また、埋立を起爆剤として若者が定住できるまちづくりを創るとい

う構想は、議員生活27年間の念願・悲願でもある。今回の構想が早期に実現できるよう、担当部長や課長の引継ぎを密に行い、県との交渉には強い姿勢で臨んでいただきたい。

**副市長** 取付道路については、県へ長年要望しているが、今回、県から用地を購入することですぐに進んでいる。できるだけ早く実現に向けて目に見えるような形で報告できるように取り組んでいきたい。

### 本庁付近の道路改良

**議員** 変則交差点の改善に向け用地交渉へ出向く際は、担当職員だけでなく、管理職も同行し、早急に解決していただきたい。

## 温室効果ガス削減取組



さかもと ひろき  
坂本 弘樹 議員

### 木質系バイオマス発電は

**議員** 未利用間伐材活用の木質系バイオマス発電の導入は。

**市長** 木質バイオマス発電は、島原半島内で生産される未利用間伐材を活用し、CO<sub>2</sub>の排出抑制とエネルギーの地産地消による経済の活性化や産業振興を図ることを目的として導入する。具体的には市の施設で利用している温水用重油ボイラーにかえて、木質バイオマス発電から生ずる廃熱を利用しようとするものである。

**環境水道部長** 公共施設で重油使用量の最も多い雲仙市環境センターで民間事業者が設置運営をするように計画し

ており、令和2年4月から希望事業者の公募を行う。小型バイオマス発電機は発電とボイラーの機能を持つ機種を民間事業者が施設敷地内に設置し、半島内の森林間伐材等を燃料にして利用する。生ずる電気は固定買取制度で売電され、熱水については市が汚泥再生処理施設の乾燥用熱源として購入し、既存の重油ボイラーの稼働を極力抑える予定である。燃料を重油から森林間伐材にかえることでCO<sub>2</sub>排出量を抑制することが見込まれ、未利用間伐材が商品となることで、林業振興にも寄与できる。



伐採木材芯腐れ



## 職員の定員適正化は



浦川 やすじ 議員  
うらかわ やすじ 議員

### 第4次行革の定員管理は

**議員** 市は第2次行革までは350人への削減目標であったが、第3次行革では当面の5

年間は381人へと大きな見直しを決定されている。但し第3次行革答申において事務量の削減と5年後は定員適正化計画を見直し、職員数の適正化に努めることを強く求められている。事務の削減と定員適正化の見直しの検討状況は。

**総務部長** 事務量の改善や削減徹底は、働き方改革推進会議において業務分析や時間外削減策等について協議を行い業務改善を進めている。定員適正化計画の見直しは、部局ごと次年度の適正な人員配置と組織改革等を協議している。

**議員** 5年後の定員適正化計画を図ることは、職員の定数削減であると理解している

が、この4年間で検討された結果、令和2年1月の雲仙市人口に対し適正な職員定数は。

**部長** 現在の本市の事情を

考慮すると5年後、10年後職員数350人で市政を運営することは極めて厳しいと考えているが、人口減少、社会情勢の変化等により、将来的には350人以下の職員数で行政運営をすることも考えられるため、今後も状況に応じた適正な職員数に見直していく。

**議員** 次期定員適正化計画の策定期間は。

**部長** 5年間を予定している。

**議員** 国家公務員の定年延長が60歳から65歳になる法案の提出が報道されている。

2022年から開始され2030年には65歳になる。

地方公務員も国家公務員に準じて定年延長となれば、次期定員適正化計画の策定期間は10年間を提案する。

## 危険空家対策は



山本 まついち 議員  
やまもと まついち 議員

**議員** 市の条例では、空家の管理が悪くて他人の生命財産に危険が切迫する場合、危険の回避の為に最低限度の応急措置ができるようになって

いるが、その内容と実施事例は。

**市民生活部長** 瓦の飛散防止ネットや、隣地への落下転倒を防ぐフェンスの設置だが、

現在、設置実績はない。

**議員** 市民から2か所の危険空家対策要望があり、通学路、公衆用道路に老朽空家の瓦が落ちていた。児童や通行者に危険が及ぶので市へ対策を要望したが、市は緊急安全代行措置を本当に実施する気はあるのか。

**部長** 個人の財産なので、所有者の同意を得て実施する必要があり、所有者死亡や相続等に時間がかかる。

**議員** 条例では、事前に所有者の同意が必要となっては

いるが、所有者への通知ができない時や困難な時にはこの限りではないとの文言もある

ので、市長が緊急性を判断すればできるのではないかと。市民の安全を守るため迅速な対応を願う。

### 新型コロナウイルスは

**議員** 市に新型コロナウイルス感染者が出た場合の対策は。

**健康福祉部長** まずは県南保健所へ相談して、検査等の判断は県南保健所から伝える。

**議員** 新型コロナウイルスで、経済的な影響を受けるいろんな団体や休職した保護者への支援をお願いする。

### 市道改良工事

**議員** 過去10年間の市道改良工事実績は、多い町で89件、

17億3000万円、少ない町で33件、6億9000万円。

このデータでは地域性や緊急性に偏りが見受けられるが。

**建設部長** 各地区からの市道改良申請件数の差である。

## 過去最高の予算額

### 令和2年度予算案

**議員** 一般会計予算案が合併後初めて300億円を超え、過去最高額となっているが、予算案に盛り込まれた目玉事業と一般会計予算の主な内訳について尋ねる。

**市長** 最大規模の予算額となった要因は、(仮称)新小浜体育館及び(仮称)新瑞穂総合支所の建設工事が本格化する事などに伴い、普通建設事業費が前年度比44%増の60億2千万円、また福祉や医療などの扶助費が1・3%増の71億3千万円で、いずれも過去最大規模の予算額となったことが大きく影響している。

特に紹介しておきたい取り組みとして、定住人口拡大に



はやしだ かつゆき  
**林田 哲幸** 議員

資する奨学資金償還補助金の創設、小・中学生遠距離通学補助金の拡充、市民の安全に資する防災対策システムの整備などがある。

### 市内の案内板の管理は

**議員** 市内の案内板等設置をどのぐらい把握しているのか。

**総務部長** 市が設置した看板は今、台帳を整理している。市以外が設置したものについては把握していない。

**議員** 観光案内要素を含むものなどは、市が設置したものでなくても、最低でも設置者が誰かすぐにわかるようにしてもらいたい。また、紛らわしい看板、見苦しい看板がなくなるよう、撤去・更新を含め管理をお願いする。



看板の管理徹底を！

## 地球温暖化防止取組は

### 地球温暖化防止

**議員** 昨年は、地球温暖化の影響と考えられる災害が、日本のみならず世界各地で発生した。少しでも温暖化を防ぐために手立てを考え次世代の子どもや孫たちにバトンタッチをしなければならぬと考える。温暖化防止に向けた市長の施政方針にも触れられていたふん尿を利用した湿润系バイオマス発電事業、木質バイオマス発電事業の進捗状況は。

**環境水道部長** 家畜ふん尿等を原料とする湿润系バイオマス事業については、平成30年度から令和元年度にかけて長崎県、調査支援事業者、発電事業者の3者が共同事業体

を構成し、島原半島におけるバイオガス発電、発酵残渣の液利用等、資源循環システムの構築を図るため種々の調査を実施しており雲仙市も積極的な協力をしている。調査結果をもとに雲仙市内で発電機設置に向け前向きに検討されている。

木質バイオマス発電事業は公共施設で重油使用量の最も多い雲仙市環境センター(国見町)に民間事業者が設置及び運営をするよう計画しており、令和2年4月から希望者を公募し、5月中には事業者を決定したい。

**議員** 国会でも気候変動危機感を共有する採択に向けた総会が開かれた。雲仙市も全国にアピールすることができるとSDGs未来都市を宣言することを提案する。

**総務部長** 地方創生を推進する観点からSDGs未来都市申請の研究に取り組んでいく。



ひらの としかず  
**平野 利和** 議員



## 地方創生のあしがかり

県立小浜、国見高校の存在は

**議員** 雲仙市内にある県立高校について、市はどのような存在として捉えているのか。

**市長** これまで多くの市民の皆様が学んだ大切な母校であると同時に、市内のにぎわいを作り出す大切な存在であり今後の地域活性化のためにも必要不可欠な存在である。

**議員** 地方創生、町の活性化のため、県と協力して両高校が閉校に追い込まれないように、早めに対策を考え、市は支援を考えるべきではないか。

**総務部長** 他市の事例等を参考に教育委員会と連携し、研究していく必要がある。

**議員** スポーツツーリズムが地域創生につながると思う



ふじもとじゅんじろう  
藤本淳次郎議員

がどうか。また大会の誘致は専門の人材が必要ではないか。

**教育長** スポーツツーリズムは大きく脚光を浴びてくる。地域の特色を生かしてどのようなスポーツを呼び込み、大会等が開けるのか研究していく。

**スポーツ振興課長** 大会の誘致は専門的な知識が必要である。県のスポーツコミッションと連携を進めていく。

### 国道389号の整備計画は

**議員** 道路内の水路の移設もあるのか。

**建設部長** 県は水路の建てかえを計画しており、令和2年度所要の予算が確保できればまず水路の工事に着手したいと考えている。

**議員** 通学路に歩道がなく大変危険である。また、多比良港埋立地に企業誘致をするのに、国道整備は大変重要である。少しでも早い事業完成をお願いする。

## 市政運営の基本方針は

予算編成の重点

**議員** 新年度一般会計当初予算は過去最高額で積極的な予算編成に取り組まれている。

各種施策推進には健全な財政運営による財政基盤の安定化が不可欠であるが、今回の予算編成において中長期的な観点から市長の所見を伺う。

**市長** 主な取り組みとして定住人口拡大に資する奨学資金償還補助金の創設や小中学校遠距離通学費補助金の拡充、多様な関係人口の拡大に向けた都市住民との交流機会創出の取り組み、防災対策システム整備、(仮称)新小浜体育館及び(仮称)新瑞穂総合支所の整備費用などを計上し、一般会計では前年比4・



おおやま しんいち  
大山真一議員

8%増の306億8187万円となり雲仙市発足以来最大規模の予算額となった。このように積極的に予算を計上する一方で地方交付税や地方債などの依存財源は7割を超えており、普通交付税の合併算定替えによる特例措置の終了や合併特例事業債の発行期限が近付いていることから、将来世代の負担をできる限り少なくし、将来にわたって安定した行財政運営を継続しつつ市内産業の活性化や市民サービスの向上を図っていくためには、中期財政計画や公共施設等総合管理計画などを踏まえ、効果的かつ効率的な事業の重点化と行政コストの縮減にたゆみなく取り組んでいくことを心がけて新年度予算を編成した。

**議員** 自主財源に乏しい財政運営であるため、国・県の動向に注視して財政基盤の確立を図り、今後とも執行部の力強い計画推進に期待する。



## 淡島住宅等の跡地活用

### 市有地を生かす

**議員** 淡島、北下原東住宅等は生かせる土地と思うが、どう考えているのか。

**建設部長** 淡島、江端住宅は老朽化しており来年度解体し敷地は庁内で利活用を確認し活用のない場合は売却等について研究したい。

北下原東住宅の空き地は団地の奥に位置し、行政財産の一部になる。行政財産から分割し、その利活用を確認後、売却等について研究したい。

### 結婚奨励金制度の研究を

**議員** 市長の施政方針で婚姻数が増加傾向にあるのとこのことで喜ばしいことである。効



おだ こうめい  
小田 孝明 議員

果が上がっているのか。

**市長** 新子育て応援パッケージ事業のひとつの制度である。1月末時点で昨年度が95組、本年度は121組であり約1.3倍となっている。

**議員** 2人とも市外の方なら60万円、1人が市外の方なら55万円、2人とも市内の方は50万円を3年間で交付され、要件のひとつに年齢が2人とも42歳未満となっているが、その理由、根拠は。

**総務部長** この事業の目的が子どもの生まれる数を増やすことであるため、県の衛生統計から市の状況を確認すると42歳以上の方は極端に出生数が少なくなっているため42歳未満とした。

**議員** 121組中、交付対象外は何%あるか。

**部長** 13.2%の夫婦が対象外となっており、5.6%の男性が対象外となっている。  
**議員** 特定不妊治療の申請も2月末で30件ある。

**部長** 今後婚姻数を伸ばす対応を研究する。

## 望洋荘の今後は

### 望洋荘の存続意義

**議員** 国民宿舎望洋荘は、昭和40年の開業以来豊富な温泉を低廉な料金で利用し、市民の憩いの場として、健康増進と福祉の向上を目指す施設として、市民や小浜温泉になくてはならない存在となっている。

### 食事提供の実施を

**議員** 望洋荘あり方検討委員会から、平成30年に答申が提出され、内容は宿泊、食事提供を廃止し入浴休憩、売店に特化した運用が適当であると判断したものであった。宿泊は止むを得ないとしても、利用者が楽しみにしていた最



もとむら やすかず  
元村 康一 議員

大の収入源（約5千万円）である食事提供を廃止するなど、何故こういう答申がでてくるのか理解できない。

令和元年度に市は答申を尊重し、そのとおりに実施したが当然のことながら大きな赤字となった。原因は、答申をそのまま実施した市にある。3月予定の指定管理の公募には、食事提供を必ず入れなければ経営が成り立たないし応募はないと思う。

**市長** 多くの利用者から食事提供がないことに対する意見や、食事ができないことで入館されないお客もあるなど、経営に大きな影響があった。又、持ち込みを可能にしたことにより、売店や酒類の売上げが減少した。今後は、指定管理者が食事提供を自主事業として行うことを可能として募集をしたい。

### 他の質問

- ・みずほ温泉千年の湯は。
- ・千々石下峰児童館は。

# 「桜を見る会」は違法？

## 「見る会」は公選法違反？

**議員** 「桜を見る会」問題は一国民として強い怒りを覚える。市長はどう考えるか。

**市長** 市長として申し上げる立場ではない。

**議員** 「実際は1万円の飲食費だったのに、参加者には5千円しか請求しなかった」場合、公選法ではどうなるか。

## 選挙管理委員会委員長

一般論として、公選法においては、後援団体が選挙区内の者に対し、不足分を負担し席を設けて他人をもてなす供応接待は禁止されている。

**議員** 政治資金規正法違反という文書も出てくるが、どういうものか。

**地域振興部長** 収支報告に



うえだ あつし  
上田 篤 議員

関し、政治資金規正法では、政治団体に収入や支出があった場合の政治資金収支報告書への記載が義務づけられている。罰則もある。

**議員** これらの法律は我々地方議員にもかかってくるのか。

**部長** 当然規制は受ける。

## 消費税増税の影響は？

**議員** 消費税増税後、日には経っていないが、影響は出ているか。

**産業部長** 農業者からは「種子や農業資材の仕入れ価格、箱代や送料の増額がある」飲食業者からは「軽減税率の導入に伴い外食する人が減った」などの声がある。融資事業などの対策を立てている。



# 有害鳥獣対策の今後は

**議員** 有害鳥獣の最近の被害及び捕獲状況は。また対策に携わっている諸団体の活動状況は。

**産業部長** 雲仙市有害鳥獣被害防止対策協議会と連携し、集落座談会、現地研修会、講演会などを開催している。

**議員** 防護柵の支柱を立てる事で農作業や農機具の操作に支障があり、事故につながる。また生活圏内まで出没して、身の危険を感じる。抜本的な捕獲対策が必要だ。従事者を増やす、報償金の引き上げや拡充こそが大事。生活圏内の家庭菜園、住宅内の被害防止、そして最も重大な身の安全を守る対策への補助金の創設を願う。各部署間で連携した対策を望む。

**市民生活部長** 住宅街等で



やざき かつみ  
矢崎 勝己 議員

は市民安全課が対応している。

通報された情報をもとに、警察、猟友会等と連携をとる。

## 公営住宅の入居条件は

**議員** 住宅に困窮する低所得者の入居で保証人制度の廃止の考えはないか。また家賃滞納の問題は個別に対話し問題を探り、解決に尽力し家賃の減額や免除についても考慮できないか。

**建設部長** 現在、市営住宅管理条例施行規則を一部改正し連携保証人を2人から1人にし、入居の事実を秘匿しておく必要がある、自力での住宅確保が困難で特に居住の安定を図ることが必要な方などについては、緊急連絡人を1人指定して入居可能にする考えである。





# 令和2年第2回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は 6月11日（木）～7月3日（金）です

- 一般質問 6月15日（月）～6月18日（木）
- 議案質疑 6月22日（月）
- 委員会
  - 文教厚生常任委員会 6月23日（火）
  - 産業建設常任委員会 6月23日（火）・24日（水）
  - 総務常任委員会 6月24日（水）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。

## 編 集 後 記

合併後、最大規模となる令和2年度当初予算が可決し、「さあ、これから…」という時に、新型コロナウイルス感染症の影響で東京オリンピックの開催が1年延期となり、雲仙市内の旅館や飲食店などでも数万人規模のキャンセルがあり、経済は大打撃を受け、出鼻をくじかれた状況になっております。また、緊急事態宣言が発出され、県内でも複数の感染者が確認されており、他人ごとではありません。皆さん、手洗い・うがいなどの感染予防対策をして健康に過ごしてまいりましょう。

（林田哲幸）



### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 平野利和
- 副委員長 大山真一
- 委員 林田哲幸、佐藤義隆  
矢崎勝己、藤本淳次郎



島原半島西側（愛野町から南串山町間）の国道57号・国道251号の現道の整備促進や代替道路の整備を国、県に対し積極的に要望・推進するため、3月4日、千々石町、小浜町、南串山町3ヶ町の自治会長会会長が松尾議長に対し、要望書を提出されました。

この要望に対し、松尾議長は、市民皆様の安全・安心な暮らしを守るため、今後とも引き続き、愛野・小浜バイパスやその他道路の整備について、国・県に対して要望活動を推進していくとの回答を行いました。



島原半島西側の道路整備に係る  
自治会長からの要望

## お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。